

国  
文部科学省熊本県  
教育委員会熊本県球磨  
教育事務所錦町  
教育委員会

## 校訓を基盤とした学校経営ビジョン

本校の校訓である「至誠」「親和」「礼節」は、単なるスローガンではなく、日々の教育活動の土台であり、本校教育目標である「夢を持ち、心豊かに、たくましく、自ら学ぶ木上の子の育成」を実現するための根幹です。

### 1 至誠(しせい) 真心を尽くす

- (1) 意味  
自分にも他者にも誠実に向き合い、最後までやり抜こうとする心。
- (2) 学校経営への位置づけ
  - ① 子ども一人一人に真摯に向き合う教育の原点
  - ② 教職員自身の姿勢としての「誠実さ」
- (3) 教育目標とのつながり→「自ら学ぶ」「たくましく」につながる  
誠実に学びに向き合うことで、主体的な学びと粘り強さが育つ。
- (4) 具体的な取組の方向性
  - ① 「わかるまで、できるまで寄り添う授業」の実践
  - ② 子どもが自分の考えを大切にし、やり抜く経験の積み重ね
  - ③ 教職員間の報告・連絡・相談の徹底（信頼の土台）

### 2 親和(しんわ) 思いやり、共に生きる

- (1) 意味  
互いを認め合い、協力し合いながら、温かい人間関係を築くこと。
- (2) 学校経営への位置づけ
  - ① 安心して学べる学校づくりの基盤
  - ② 多様性を尊重する教育の推進
- (3) 教育目標とのつながり→「心豊かに」につながる  
他者との関わりの中で、思いやりや共感が育つ。
- (4) 具体的な取組の方向性
  - ① 学級経営における「居場所づくり」と「絆づくり」
  - ② 異学年交流や協働学習(体験)の充実
  - ③ いじめの未然防止と早期対応（対話を重視）意識調査・面談含む

### 3 礼節 (れいせつ) 礼を尽くし、節度を守る

- (1) 意味  
相手を尊重し、場に応じた言動ができる態度。
- (2) 学校経営への位置づけ
  - ① 社会の一員としての基礎的資質の育成
  - ② 学校の風土をつくる大切な柱
- (3) 教育目標とのつながり→「たくましく」「夢を持ち」にもつながる  
社会の中で信頼され、自分の夢に向かって生きていく力の基盤となる。
- (4) 具体的な取組の方向性
  - ① あいさつ・返事・言葉遣いの徹底
  - ② 時間やルールを守る指導の一貫性
  - ③ 教職員自らが手本となる姿勢

まとめ (全体のつながり)

- 至誠** → 学びに向かう力 (主体性・粘り強さ)
- 親和** → 心の豊かさ (思いやり・協働性)
- 礼節** → 社会性 (規範意識・信頼関係)



これら三つが相互に関わり合うことで、本校の教育目標である「**夢を持ち、心豊かに、たくましく、自ら学ぶ木上っ子**」の育成が実現します。

**校訓**は子供に求めるものだけでなく、私たち教職員自身の在り方そのものです。

日々の言動や授業、子どもとの関わりの中で体現していくことで、初めて子どもたちに根付きます。

全職員が同じ方向を向き「**至誠・親和・礼節**」を基盤とした教育を積み重ねていきましょう。

※ 年間登校日 198 日 約 200 日 × 5 時間授業 = 1000 回

私たちは、目の前の子どもを伸ばすチャンス (機会) を 1000 回得ています。

